

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104



映画「旭山動物園物語 ペンギンが空をとぶ」
全国絶賛上映中

ASAHIYAMA Zoo

力自慢!!ムーン 09



こども牧場の犬・ムーンはニューファンドラ種という品種でとても力持ち。原産国はカナダで、もともと漁師さんのお手伝いをして網を引いたりする犬です。また、人をおぶったまま泳ぐことができ、水難救助などで大活躍しています。

そしてこの冬、ムーンは担当者のお手伝いを始めています。こども牧場で、使い終わった乾草やゴミなど20〜30キロほどの荷物を運んでいます。これまでは担当者が、軽トラックで行っていた作業です。ムーンに大きなそりをつなげていざ出発。園内で働くムーンの力強い姿が見られます。雪解けがすすむ頃までの不定期で行いますが、これから毎冬、活躍してくれることでしょう。



第2こども牧場でみられます
13:15~14:15

ヤギの赤ちゃん誕生

2月18日、第2こども牧場で、ヤギの赤ちゃん2頭が生まれました。オスメス1頭ずつで、名前は「こはる」と「はる太」になりました。旭山動物園でヤギの赤ちゃんが見られるのは、5年前のクララ誕生以来のことです。母親は昨年秋にや



好奇心旺盛! 母ヤギのまねをして乾草をもぐもぐ

つてきた「さくらこ」です。母子ともに順調で、生まれてすぐの仔ヤギは体重が約3キログラムだったのが、生後2週間で2〜3キロほどふえています。すでに小さな歯も生え始め、オスは角が生えかけてきています。母ヤギのお乳をのんだり、2頭でじゃれあったり、元気いっぱいの子ヤギたちが会いにきてください。

たまごのふしぎ

オオワシ 産卵

1〜2コが
4つに増えた?
補充卵のひみつ



羽を広げるとその大きさ2.5メートル。オオワシのペアがこの冬も産卵しました。通常、オオワシは1〜2つの卵を産みますが、飼育展示係が巣からタマゴを取り出すと、オオワシが卵を補充するようにまた1つ産み足します。その卵を補充卵(ほじゅうらん)といいます。これは、タマゴが割れてしまったときや、天敵にタマゴを食べられてしまったために備えた鳥の習性です。

今年オオワシは補充卵をふくめて4つの卵を産みました。そのうち、2つを親鳥が育て、あとの2つは「ふ卵器」を使います。野生のオオワシは、6〜7000羽程度しか生息しておらず、将来が心配されています。オオワシの「種の保存」に貢献できるように、旭山動物園ではオオワシの繁殖に取り組んでいます。

オオワシがこの冬、卵を産みました。これから春〜夏にかけて鳥たちが卵をうむ季節が始まります。タマゴには不思議なことがたくさんあります。

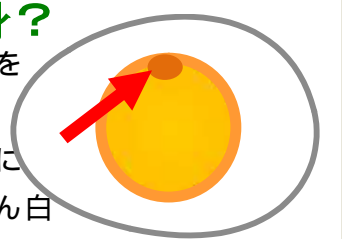
ここでタマゴのい・ろ・は 知ってみましょう。

黄身の部分がそのままヒヨコになるのは白身?

るものではありません。卵黄の上面に **黄身?**

ある胚(はい)という部分が、卵黄の栄養をすいとりながら成長し、ヒナになります。

卵黄はいわゆるヒナのお弁当です。ちなみに白身には成長に必要なたっぷりの水分とたん白をふくんでいて、黄身を守る役割もしています。



有精卵? 無精卵?

私たちの食卓にのぼるほとんどのタマゴは無精卵で、あたためてもヒナは生まれません。オスとメスが交尾をして、うまれたタマゴを有精卵といいます。

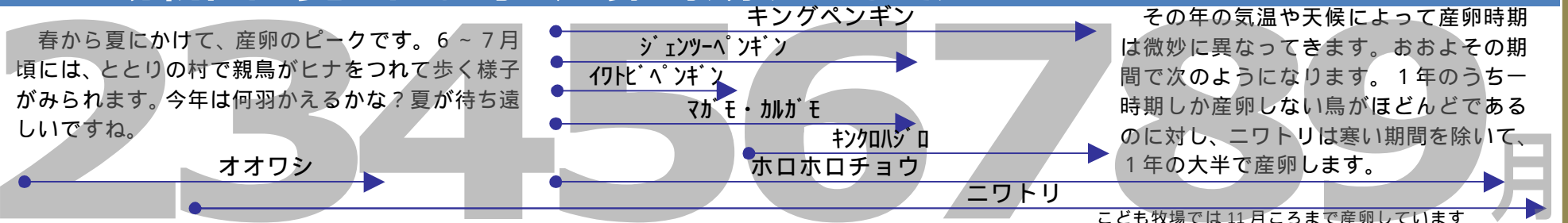
タマゴの中で胚が成長してヒナとしてうまれてきます。

ふ化するための「歯」~**卵歯**

ヒナには、殻をわる時にだけ使う卵歯というものがあります。くちばしの先の小さな固いこの部分。



旭山動物園で見られる鳥の産卵時期(おおよそ)



冬期、旭山動物園は4月7日まで無休で開園しています